

駅から歩いて1時間

泉駅 (南口)

衣食住そろそろ便利な町

史跡マップ片手に散策も



JR常磐線泉駅前・ビジネス客の利用が多く、乗車待ちのタクシースラリ



寛永十一（一六三四）年、

ケースなどを引いた出張のサ

江戸時代初期から、明治維新に至るまで、独立した「泉藩」として歴史を築いた泉地区。玄関口、泉駅は小名浜方面へ向かうビジネス客も多く訪れる。旧国道6号沿いには多種多様な店が軒を連ね、駅前「衣・食・住」全てがそろった「便利な町」を歩いてみた。

江戸時代の、数々の史跡が残る同地区の中ほどにJR常磐線泉駅がある。平成十一（一九九九年）年に完成した橋上駅舎で、二〇一九年の定期・定期外合わせた一日の乗車人員数は二千三百三十五人。市内九駅中、いわき駅に次いで、二番目に多い。スーツケースやキャリア

磐城平藩主・内藤政長が死去した際、政長の遺命によって分藩として泉藩が成立。以来、内藤、板倉、本多氏と藩政は受け継がれ、明治四（一八七二）年の廃藩置県まで二百三十年余の歴史を築いた。



この地区 オリジナル

今なお発展し続ける同地区には、衣食住からアートまで、さまざまな店が軒を連ねる。食の分野では、「パン処・小麦庵」や「たまごの郷」、セレクトショップの「ブルーシューエット」、コーヒー豆、紅茶販売の「ウェルハース」などが人気。住環境は、「早く帰りたいくなる家」というコンセプトで住宅の設計、施工、販

売を手がける「すまい倶楽部」が本社とショールームを構える。そのほか、一流作家の逸品を実際に見て、購入できる「アトス・ペース泉」や、市内で二十三軒のクリーニング店を運営する「タチハナ本店」など、芸術分野から生活に密着した事業まで市民のニーズにこたえている。

- ブルーシューエット
電話=85-5904
- クリーニングのタチハナ本店
電話=56-6697
- すまい倶楽部
電話=0120-562-883



泉公民館隣の敷地にある泉城址と記念碑。本多忠篤公ゆかりの“赤玉”の碑も

ラリーマンが、タクシーやレンタカーを利用して、小名浜の臨海工業地帯へ移動していく姿をよく見かける。

「泉城址・記念碑」から、「旧泉城裏門」など約三十カ所が解説され、各所在地が地図にまとめられている。

工業地帯の窓口と、歴史を感じさせる街並みの入り口と二つの顔を見せる同駅から四百メートルほど先にある、泉公民館にまず立ち寄ることをおすすめする。公民館では、同地区の歴史や史跡をまとめた「泉地区史跡マップ」を配布しており、同館のすぐ隣にある

にぎわう旧国道6号

本多氏の二代藩主・忠篤は、藩の教化策として心学を推進。五代忠徳の時代に藩校「汲深館」が設立され、漢学、兵学、砲術、筆道、算術、習礼などを修めた。同地区には、厚労省が設置した情報処理技術の職業訓練校「いわきコンピュータ・カレッジ」があり、市内の若者たちが最先端の技術を学んでいることに奇縁を感じた。

史跡や、同藩ゆかりの諏訪八幡神社をめぐり、旧国道6号（現・県道20号）に至る。過去の土地区画整理事業が奏功、多くのロードサイド店も



独立独歩の「泉藩」であったことが誇り

連なり、渋滞が多いことで知られているが、徒歩であれば、人気店にも気兼ねなく立ち寄ることが可能だ。国内外の逸品を集めたセレクトショップ「ブルーシューエット」をはじめ、ラーメン、とんかつ、焼き肉など各種の飲食店が立ち並び、食事をすするの、テイクアウトで買って帰るのも自由自在。駅へ戻る途中、自家焙煎コーヒー豆と紅茶販売の「ウェルハース」や、「手作り惣菜のキッチン」はらぺこ味・逸品Ⅱ三十六ページ参照）など、同地区に行かなければ味わえない店を堪能してみたい。はどうだろうか。

(和)



食の安全・安心。さらに、おいしい

シーフードケーキ

創作かまぼこ

かねまん

http://www.kaneman.net/
0120-17-3360

■電話・FAX・インターネットでも注文承ります。
■本店営業時間AM8:00~PM5:00(年中無休)

■本店
福島県いわき市平下高久字下原83
TEL.0246-39-3360・FAX.39-3754

■いわき・ら・ら・ミュウ店
福島県いわき市小名浜字辰巳町43-1
TEL&FAX.0246-53-7125

皆様の幸運を招く
恵比寿様 大黒様

恵比寿様
大黒様

■オンラインショップ
www.kaneman.net
インターネットでのご注文はこちら▶